

# 英ブレグジット なぜ？

—— 日本が学べることは？

国民投票があった 2016 年 6 月から約 3 年半。

なぜこれほどまでに難航しているのか。

イギリスはどこへ向かうのか。

(2019年12月2日開催、日外協講演会から)



在英ジャーナリスト **小林恭子**

## 英国概況

面積	24.3 万平方キロメートル (日本の約3分の2)
人口	6,600 万人 (2017 年)
GDP	2兆8290 億ドル(18年、日本4兆9720 億ドル)
1人当たりGDP	4万 2558 ドル(同、日本3万 9306 ドル)

出所：外務省、IMF データを基に日外協作成

## 自分のことは自分で決められる！

ブレグジットで何が変わるのか。

よく言われているのは、①世界中と自由貿易ができるようになる、②かつての大英帝国の夢よもう一度、③移民がたくさん入ってこなくなる、など。だが、1番大きいのは、「自分のことは自分で決められる！」。

EU 加盟国は、国内法よりも EU の法律が上位に来る。自分たちが選んだ国会議員ではない人間たちが自分たちの将来のいろいろなことを決めていくことに、納得できない国民感情があった。EU を離脱すれば、EU の法律や規則に縛られなくなる。自分たちで自分たちの国の将来を決められるようになるのだ。

## 1票でも多ければ「勝ち」は勝ち

### 国民投票・離脱を実現させた要素は？

英国では、ドイツやフランスをはじめとする大陸欧州への反感や嫌悪感は強い。英仏 100 年戦争 (1339 ~ 1453 年)、ナチスドイツの侵

略など歴史的経緯もある。かつての大英帝国に対する懐古主義も。英国では「大陸欧州ではこんなバカなことをやっている」とメディアが面白おかしく、批判的に伝えることも日常茶飯事。フェイクニュースが偏見や差別感情を煽る。ジョンソン首相はかつて、新聞社のブリュッセル特派員だった頃、こうした記事を次々と書いていた人物だ。

EU の創設を決めたマーストリヒト条約 (1992 年調印) がつくられる 90 年代初頭から、EU からの脱退を求める「英国独立党」(UKIP、ユーキップ) が台頭。草の根運動が広がり、政治的潮流がつくられていく。

### なぜ大きな政治的動きになったのか？

2004 年以降、東欧諸国が EU に加盟すると、当時の労働党ブレア政権は無制限に移民を受け入れた。ドイツは 6 年間の試行期間を設けるな



「我々の未来は我々で決める」離脱派の看板